

# 代表制民主政治

## 1. はじめに

## 2. 直接民主制と間接民主制

- ・直接民主制 ①政治参加の権利が市民全員に対して平等である  
②治者と被治者が完全に一致  
③公的生活に積極的参加することが市民としての徳である
- ・間接民主制（代表制民主政治）国民全員でなく投票によって選出された代表が統治する

## 3. 間接民主制の成立

### ①社会的考察

議会の原型＝中世ヨーロッパの身分制議会

- ・国王の諮問機関で課税審議権を有する

↓

産業革命や市民革命にともない、  
政治的発言力を増したブルジョワジーが参加するなど、  
有権者が拡大し最終的には普通選挙が実施される

### ②思想的考察

- ・代表制の前提＝ベンサムの合理主義的人間観

「一般的にいえば、あなたの利益のためになにをすべきかということを知っている人はあなた自身をおいてほかにはいない（ベンサム）」

↓

諸個人は誰もが自分が何を望んでいるかを知っている

↓

諸個人は常に自己の最大幸福を計算して行動する合理的存在

- ・ミルによる修正

社会には、少数派として政治的能力、判断力に優れた人間と

多数派として政治的能力、判断力に劣った人間が存在する

↓

一人一票の原則は、多数者による専制に陥る可能性を見出し、  
少数者保護の必要性を唱える

## 4. 代表制民主制の機能

### (1) 委任代表と国民代表

- ・ 委任代表…代表者（議員）は選挙民の代理人であり、選挙民の意思に従属
- ・ 国民代表…選挙民の意思は尊重するが、それとは異なる行動をする場合がある

↑

- ①議会における議論の重要性 ②政治家としての理性と判断力を重視

### (2) 討論の原理…議会における活動は、議員の自由で慎重な討議を要する

## 5. 代表制民主制の崩壊

ベンサムの合理主義的人間観の崩壊

普通選挙制の実現による大衆民主主義の成立

↓

- 大衆の合理性に対する批判
- ①ウォーラス…政治における人間性の限界  
人間の持つ本能によって、無意識のうちに特定の政治判断がうえつけられる
  - ②リップマン…ステレオタイプ  
大多数の人間の判断や認識はステレオタイプを離れては考えられない
  - ③オルテガ…大衆の反逆  
理性的な判断能力をもたず不合理な感情に任せて大勢に順応する

## 6. おわりに

- ・ 議会の限界？

### 【参考文献】

- 西尾孝司『現代政治と民主主義 [増訂版]』晃洋番房、1999年  
岩崎正洋『議会制民主主義の行方』一藝社、2002年  
川崎修、杉田敦『現代政治理論』有斐閣、2006年  
杉田敦『デモクラシーの論じ方』ちくま新書、2001年  
中西猛、足達孝男『概説 西洋政治思想史』ミネルヴァ書房、1994年  
佐々木毅、鷲見誠一、杉田敦『西洋政治思想史』北樹出版、1995年  
佐々木毅『現代政治学の名著』中公新書、1989年  
西部邁『保守思想のための39章』ちくま新書、2002年